

生活単元 学習指導案

海田町立海田小学校

- 1 日 時 平成 30 年 1 月 18 日 (木) 10 : 40 ~ 11 : 25
- 2 場 所 にこにこ学級
- 3 学 級 知的障害特別支援学級
第 6 学年 1 名 計 1 名
- 4 単元名 「できたよ 発表会」
- 5 単元設定の理由

○ 本学級は、6 年生の女子 1 名が在籍している。(省略)

○ 本単元「できたよ 発表会」は、2 月に行われる参観日に向けて一年間の学習を振り返り、学んだことを発表することをねらいとしている。内容を自ら考えて計画し、見通しをもって準備や練習をして当日の発表に至るという一連の活動を単元化した学習である。

当該児童は、「どんどんカレンダー」の学習で、毎月目標の冊数を決め読書活動に取り組んできた。そして、読んだ本の感想やおすすめの内容をブックカードに書き溜めてきた。また、「野菜を育てよう」・「生き物を育てよう」では、身近な自然に興味や関心を深めその特徴や変化の様子を知る活動として、らっかせいの栽培やヌマエビの飼育等に取り組んできた。これらの学習により、意欲的に発表したい内容を自分で選んで表現することはできるようになってきた。また、単元全体では、課題発見・解決学習の視点から、発表会までの計画を立てさせ、見通しをもって、これまで学習したことを参考にしながら練習に取り組ませ、教師が積極的に肯定的な評価を行い、当該児童ができるようになったことを確かめながら進めていくことができる内容である。

○ 指導にあたっては、「できたよ 発表会」では、3 つの内容について発表を行う。まず、児童が主体的に取り組めるようにするために、発表の意義やテーマを的確に把握するとともに、これまでの学習を掲示等により視覚的に支援しながら、発表会に向けて意欲や見通しをもたせるようにする。次に、具体的な発表会の計画については、当該児童が主体となって考えることができるように本番までの学習や準備物などの計画表を作成する。さらに分かりやすく伝えるためには、発表会を計画する段階で、伝えたい相手を意識させることで表現する意欲を高めさせる。また、図や絵を使う等して、分かりやすい発表をするためにはどうしたらよいかを考えさせる。その際、発表している様子をタブレットで撮影し、自らの姿を客観的に振り返らせることで、伝わりやすい発表になっているかどうかを考えさせたい。

6 単元の目標

- 「できたよ 発表会」のテーマや内容を考え、計画・準備をすることができる。
- 相手を意識して話す順序を考え相手に伝わりやすい発表をすることができる。

7 本単元において育成したい資質・能力

本校で育成したい資質・能力は、①主体性②自らへの自信③コミュニケーション能力の3つである。そのうち、本単元で重点的に指導したい資質・能力は次の2つである。

育成したい資質・能力	本単元の学習を通して目指す姿
主体性	単元のゴールである「できたよ 発表会」を開くという目標をもち続け、意欲をもって学習に取り組んでいる。
コミュニケーション能力	発表を聞いてくれる人の反応を見ながら、相手意識をもち「できたよ 発表会」で自分の考えや分かったことを伝えることができる。

8 単元の学習指導計画（全10時間）

次	時	学習内容	評価
			(・) 評価規準 (評価方法) (★) 資質・能力の評価 (評価方法)
一	1	○1年間の学習を振り返り、分かったことやまとめたことを確認しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ・既習学習を思い出して発表内容を選択することができる。(観察・発表) ★「できたよ 発表会」というゴールに向けて見通しをもって学習しようとしている。(観察) [主体性]
二	2	○どんどんカレンダーの発表を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろかったことやおすすめの内容を選んでいる。(発表・ワークシート)
	2 本 時	○生き物を育てようの発表を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことや調べたことを、相手に分かりやすく伝えるためにはどうしたらいいのか考えようとしている。(観察・ワークシート) ★発表したい順序を理由を付けて書くことができる。(発表・ワークシート) [主体性]
	2	○野菜を育てようの発表を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・分かったことやこれまでに育ててきた野菜との比較をもとに、相手に分かりやすく伝えるためにはどうしたらいいのか考えようとしている。(発表・ワークシート)

三	3	<ul style="list-style-type: none"> ○会場の準備 ○招待状作り ○リハーサルを行う。 ○「できたよ 発表会」を開く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に準備を進めたり発表の順番を考えたりしている。（観察・発表） ★相手や言葉のまとまりを意識したり，図や写真を指し示したりしながら発表することができる。（発表・ワークシート）[コミュニケーション能力]
---	---	---	--

9 本時の目標

「エビ図鑑」をもとに，ヌマエビのことをあまり知らない相手の気持ちになって話す順序を工夫し，分かりやすく伝えることができる。

10 評価の観点

初めてヌマエビのことを知る人に分かりやすく伝えるために，発表の順序や方法を考えることができていたか。

1.1 学習過程（次ページ）

過程	学習活動	指導上の留意事項（◇） （◆「努力を要する状況」と判断した生徒への指導の手立て）	評価規準 （○）指導事項 （★）資質・能力 （評価方法）
導入	1 前時のふり返りをする。	◇既習を使って比較する。	
展開	2 本時のめあてを立てる。 めあて	◇児童からのつぶやきやキーワードをもとに、めあてを立てる。	
	3 発表の順序を決める。	◇発表したい順番を理由を付けて書かせる。 ◆理由を書く時に、短い言葉や声に出しながら書いてよいことを伝える。 ◆自分が話したい順序ではなく、相手がよく分かる順序になっているのかを確認させる。 ・一番にオスとメスのちがいについて発表します。なぜなら、オスとメスの体の形に違いがあることにびっくりしたからです。	○分かったことや調べたことを相手に分かりやすく伝えるためにはどうしたらいいのか考えようとしている。（観察・ワークシート） ★発表したい順序を理由を付けてかくことができている。（ワークシート・発表）[主体性]
	4 発表の練習をする。	◇本番と同じ場の設定にする。 ◇発表している様子を、タブレットで映す。 ◇初めてヌマエビのことを知る人に伝える順序になっているのかを確認する。	
まとめ	5 学習のまとめ・振り返り まとめ	◇伝わりやすい発表の順序を確認する。 ◇タブレットで確認する。	
	6 次時の計画	◇らっかせい新聞の発表について考えることを伝える。	

1 2 板書計画

<p>まとめ</p> <p>わたしは、大きなことからじゅん番に発表すると知らない人につたわりやすいことがわかりました。</p>	<p>4 (たまご)</p>	<p>3 (オスとメスのちがい)</p>	<p>2 (とくちょう)</p>	<p>1 (ぼしよ)</p>	<p>めあて</p> <p>初めてヌマエビのことを知る人がよく分かるように発表するじゅんじよを決めよう。</p> <p>(発表じゅんじよ)</p>	<p>あいつ</p>				
	<p>ヌマエビずかん</p> <table border="1"><tr><td>とくちょう</td><td>オスとメスのちがい</td></tr><tr><td>たまご</td><td>ぼしよ</td></tr></table>					とくちょう	オスとメスのちがい	たまご	ぼしよ	<p>あいつ</p>
	とくちょう	オスとメスのちがい								
	たまご	ぼしよ								
	<p>あいてを見る</p> <p>声の大きさ</p> <p>3い・2い・1い</p>					<p>あいてを見る</p> <p>声の大きさ</p>	<p>発表について考える</p>			
<p>あいてを見る</p> <p>声の大きさ</p>				<p>あいてを見る</p> <p>声の大きさ</p>	<p>発表の練習</p>					
<p>あいてを見る</p> <p>声の大きさ</p>				<p>あいてを見る</p> <p>声の大きさ</p>	<p>まとめ</p>					

準備物

ワークシート、掲示物 (図鑑)、タブレット